

平成27年度「年度計画」の主な取組について

計画の基本方向

平成27年度は、第1期中期計画期間の中間年（3年目）となる重要な年度である。このため、これまでの取組内容と、平成26年11月に策定した「創基100周年ビジョン」も踏まえつつ、重点項目については年度内の到達目標を明確にした上で、実施スケジュールを作成し、それに伴う評価や改善（PDCA）を行いながら組織的・戦略的に推進していく。平成27年度に取り組む主な項目は以下のとおり。

| | [取組項目] | [H28.3到達目標] |
|---|--|---|
| <p>教育基盤の強化</p> <p>教育研究等の質の向上を図るため、早期に教育基盤の強化を図り、全学的な教育改革を推進</p> | <p>グローバル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ グローバルリーダー教育プログラムの展開 ◆ 海外との交流の拡大 <p>教育の質保証</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 全学共通教育の再構築 ◆ 教育プログラムの体系化 ◆ 教育・研究組織の見直し <p>教職員向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 男女共同参画の推進 ◆ コンプライアンス推進体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 共通教育の単位化、各学部のコース・ユニット（専門教育）のトライアル実施 [ユニット生④48人→⑦88人] ▶ 海外留学制度、海外インターンシップ、海外体験研修等に基づく学生の海外交流の拡大 [本学学生の派遣、留学生受入人数④66人→⑦130人] ▶ 全学共通教育のカリキュラムの見直しを行い、H28年度から新カリキュラムを順次導入 ▶ ナンバリング・カリキュラムマップを作成し、H28年度の開講科目から実施 ▶ H28年3月までに学部・大学院研究科の改革の基本方針案を策定 ▶ 女性研究者が研究とライフイベントを両立できるよう、研究支援員の配置等により支援。 神戸大学、関西学院大学と連携して、女性の積極登用を推進 [女性研究者採用比率④39.5%、女性研究者在職比率 H28.4 : 23.4%] ▶ 新たなコンプライアンス推進体制を構築し、基本方針の策定と推進状況のフォローアップを実施 |
| <p>地域創生に貢献</p> <p>兵庫県地域創生条例の制定も踏まえ、県・市町等と連携し、活力ある地域社会の構築に貢献する取組を推進</p> | <p>地域の再生や活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域資源マネジメント研究科博士後期課程の設置申請 ◆ 「COC地域志向教育プログラム」の開講 <p>安心・安全な地域社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 減災復興政策研究科（仮称）の開設準備 ◆ 周産期ケア研究センターの開設 <p>新産業の創造や地域経済の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 産学公連携活動の充実 ◆ 自治体・地域団体との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ H28年4月開設に向けて、文科省設置認可を取得 ▶ 自治体・地域と連携した「COC地域志向教育プログラム」を東地区（経済・経営・看護学部）で新規に開講。H28年4月から西地区での新規開講に向けた準備を完了 ▶ H29年4月開設に向けて、H28年3月に文科省に設置認可申請 ▶ H27年7月開設の兵庫県立尼崎総合医療センター内に整備し、周産期ケアに関する研究を行うとともに、助産師に対する教育支援を実施 ▶ 地元企業や自治体、金融機関等との協定締結に基づく新たな連携活動、共同研究を開拓するとともに、地元企業等への人材供給を促進 ▶ 地域の企業や商工関係団体、自治体等との連携による地域活性化及び地域課題解決に貢献する事業を実施 |
| <p>世界水準に挑戦</p> <p>高度な研究基盤を活用した先端研究と社会への発信を推進</p> | <p>先導的・独創的な研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 計算科学連携センターの充実 ◆ 次世代水素触媒共同研究センターの充実 ◆ 減災・復興に関する大学間ネットワーク“GAND”の運営 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 大規模計算、超並列計算が重要となる社会科学的な研究課題・取組方法について議論するワークショップの開催等による研究交流の推進や、計算科学研究機構との連携を強化 ▶ 人工触媒や燃料電池の開発への応用が期待されるヒドロゲナーゼ（水素発生酵素）の構造解析をはじめとする研究を推進するとともに、水素社会の実現に向けた県の取組に参画 ▶ 国内外の大学が減災・復興分野で連携・交流する大学間ネットワーク“GAND”を運営するとともに、第2回減災・復興国際シンポジウムに参画 |

第1期中期計画（H25～H30年度）の達成

創基100年に向けて [兵庫県立大学創基100周年ビジョン（H26.11月）]

基本方向

「社会から信頼され評価される、世界水準の大学を目指す」